

総務



平成 24 年浦安市消防出初式

1 浦安消防のあゆみ

- 明治 22 年 6 月 28 日 浦安村防火条例施行。全部落（3部落）に防火取締り（後の小頭）と防火夫を置いて消防活動に従事するようになった。
当時の出火原因は、わら灰によるものが多く、防火条例で毎年11月1日から翌年3月31日までわらを燃料として使用することを禁止し、火災の予防に努めた。
- 明治 27 年 2 月 10 日 浦安村消防組設置。全村を第1部、第2部及び第3部の3つに区分し、各部に部長1名を置いて部内を統率させ、組頭が消防組全体を指揮した。また同年、消防の機械化を図るため小型腕用ポンプを購入し、各部に配置した。その後、明治43年には組員が300名に増員し、大正4年には組員500名に増員した。
- 明治 42 年 9 月 1 日 町制を施行し、浦安町となった（浦安町消防組となった。）。
- 大正 10 年 4 月 浦安町屋根改葺貯金組合を各部落毎に組織し、積極的に瓦又はトタン屋根に葺きかえて火災の予防に努めた。
- 昭和 14 年 4 月 1 日 警防団令施行と同時に、消防組と自主的に設置されていた防護団とを統合し、警防団に改組。全町を3分団に分け、堀江部落を第1分団、猫実部落を第2分団、当代島部落を第3分団とした。団員数371名。
- 昭和 19 年 10 月 警防団本部（浦安町役場内）と第1分団詰所及び第2分団詰所の間にも直通電話を架設し、続いて翌20年に第3分団詰所との間にも直通電話を架設した。当時としては、他市町村に例をみない機械化及び通信施設の充実を図った。
- 昭和 22 年 7 月 28 日 消防団令施行により、警防団を消防団と改称した。
- 昭和 22 年 8 月 1 日 初代吉村利男消防団長就任。
- 昭和 23 年 8 月 10 日 浦安町消防団員服務規律及び懲戒条例制定。
- 昭和 23 年 8 月 24 日 浦安町引火取締条例、浦安町公衆集合所火災災害予防条例制定。以後、火災予防にますます重点がおかれ、予防査察、危険物の規制等、町ぐるみの防火体制の確立に努めた。
このころから冬期の夜間路上における喫煙を自粛しようという運動が高まり、昭和25年頃からは、浦安町火防期間（毎年11月15日から翌年4月15日まで）の運動として、日没から夜明けまで全町内路上での喫煙を禁止する運動を強力に展開し、本町の伝統として今日でも固く守られている。全国でもユニークな運動として、積極的に広報活動をしている。
- 昭和 24 年 8 月 31 日 キティ台風により、堤防が決壊し、被害甚大となり、災害救助法の適用を受けた。消防団は、全員出動し、風雨もいとわず、堤防の危険箇所の防護、避難誘導及びり災者の救助に当たった。被災後は、堤防の復旧作業に従事し、約50日間延べ4,000人の消防団員が町民に感謝された。
- 昭和 25 年 3 月 7 日 キティ台風襲来の際、水防及びり災者の救助に尽力した功により、千葉県知事から消防団に功労竿頭綬が授与された。
- 昭和 25 年 4 月 1 日 第2代臼倉甚吉消防団長就任。
- 昭和 25 年 5 月 10 日 大型ポンプ自動車を購入。第2分団へ配置した。

- 昭和 25 年 8 月 15 日 第 1 分団詰所、亜鉛葺木造 2 階建て（一部鉄筋コンクリート造）改築。当時から全分団で常駐の使丁を採用し、火災の受信、詰所の維持管理、通知状の配達等、分団業務の円滑化を図った。
- 昭和 25 年 10 月 16 日 東京消防庁と消防相互応援協定締結。
- 昭和 26 年 3 月 7 日 千葉県知事から、成績優秀につき、消防団に優良竿頭綬が授与された。
- 昭和 26 年 4 月 1 日 第 3 代宇田川謹二消防団長就任。
- 昭和 27 年 3 月 7 日 千葉県消防協会長から、日夜練習を重ね、町民の生命財産の保護に寄与した功績を認められ、消防団に表彰旗が授与された。
- 昭和 27 年 11 月 15 日 普通消防ポンプ自動車購入。第 3 分団に配置した。
- 昭和 28 年 6 月 1 日 第 4 代宇田川國松消防団長就任。
- 昭和 29 年 3 月 7 日 千葉県知事から、消防設備及び訓練優秀につき、消防団に功労表彰旗が授与された。
- 昭和 29 年 12 月 1 日 普通消防ポンプ自動車購入。第 1 分団に配置した。
- 昭和 30 年 1 月 12 日 第 2 分団詰所を県道沿いの最も利便のよい猫実 454 番地に移転新築。
- 昭和 30 年 3 月 7 日 県下において消防機械及び器具が最も充実し、団員の訓練も優れていることから、千葉県知事から消防団に表彰旗が授与された。
- 昭和 31 年 9 月 10 日 腕用ポンプを廃止。小型可搬動力ポンプ 3 台を購入し、各分団へ配置した。密集化する市街地火災に対処するとともに、当時から河川、用水等の自然水利が減少したことにより、市街地各所に道路地下式の貯水槽（40^m級）を増設した。
- 昭和 31 年 11 月 10 日 市川市と消防相互応援協定締結。
- 昭和 32 年 3 月 7 日 消防庁長官から、総合消防力優秀につき、消防団に竿頭綬が授与された。
- 昭和 33 年 6 月 1 日 第 5 代長野寅吉消防団長就任。
- 昭和 35 年 3 月 15 日 第 3 分団詰所を当代島 425 番地の県道沿いに移転新築（亜鉛葺コンクリートブロック造平家建て延べ 98.2^m）。
- 昭和 38 年 2 月 11 日 日本消防協会長から、成績優秀につき、消防団に竿頭綬が授与された。
- 昭和 41 年 4 月 1 日 第 6 代泉沢正一郎消防団長就任。
- 昭和 41 年 5 月 28 日 浦安町役場消防協力隊を組織。
- 昭和 42 年 2 月 20 日 日本消防協会長から、消防設備及び訓練優秀につき、消防団に表彰旗が授与された。
- 昭和 43 年 3 月 10 日 第 1 分団詰所を堀江 200 番地へ移転新築（軽量鉄骨木造モルタル 2 階建て延べ 118.44^m）。
- 昭和 43 年 4 月 1 日 危険物取扱事業所等 27 会員をもって浦安町危険物安全協会を設立。
- 昭和 45 年 4 月 1 日 第 7 代宇田川喜作消防団長就任。
- 昭和 46 年 9 月 9 日 消防用超短波無線電話装置購入。基地局を消防団本部（浦安町役場内）に設置。各分団ポンプ自動車（6 台）に 5W 移動用を積載。消防団の機動力を図るとともに、役場において移動 2 局を管理。水火災の活動の万全を期した。消防団員数 188 名。
- 昭和 47 年 4 月 1 日 役場管理の無線付車両（ライトバン）を改造。役場職員による救急患者の搬送業務（24 時間体制）を開始。

- 昭和 47 年 7 月 25 日 県下有数の人口密度を有し、ますます過密化する現場に対応するため、浦安町消火器貸与に関する規則を制定。火災時における初期消火対策及び予想される大地震対策の一環として、A B C 粉末10型消火器を7,400本購入。共同住宅、一戸建住宅を問わず町内全世帯に無償で貸し出し、本町の防災対策の充実を図った。
- 昭和 47 年 12 月 11 日 超短波無線電話装置付救急車（2 B 型）を購入。救急隊発足の準備を進めた。
- 昭和 48 年 2 月 10 日 災害に強い町づくりを目ざす本町は、大地震及び高潮等災害時の迅速な情報伝達システムとして無線放送塔を町内13か所に設置（千葉県下初の施設）。全町内をカバーする防災広報無線装置が完成した。平常時は、一般消防業務及び行政業務の広報を行う。
- 昭和 48 年 3 月 1 日 浦安町海楽1番地（現：浦安市猫実一丁目19番22号）に浦安町消防庁舎竣工（鉄骨造2階建て延べ969㎡、敷地3,000㎡）。
- 昭和 48 年 3 月 7 日 浦安町役場消防協力隊が、長年の消防団への協力に対し、千葉県知事表彰（消防関係機関）を受けた。
- 昭和 48 年 3 月 12 日 浦安町救急隊発足。本格的救急業務を開始（救急隊員10名）。消防本部・消防署設置の準備を進めた。
- 昭和 48 年 3 月 31 日 日本自動車工業会から、救急自動車（2 B 型）の寄贈を受けた。
- 昭和 49 年 3 月 30 日 水槽付消防ポンプ自動車購入。
- 昭和 49 年 4 月 1 日 政令指定により、東葛飾郡浦安町消防本部・消防署設置。初代熊川好生町長消防長事務取扱就任。水槽付消防ポンプ自動車1台、普通消防ポンプ自動車1台、救急車2台で発足。
- 昭和 49 年 6 月 29 日 救急業務政令指定。
- 昭和 50 年 3 月 10 日 第3分団詰所を新築（鉄筋コンクリート造3階建て延べ412㎡）。近年急激な発展を続ける同地域の防災上の重要な拠点として、工事費71,000,000円を投じた。
- 昭和 50 年 8 月 11 日 災害に強い町づくりを推進するため、全世帯消火器無償貸与事業及び防災用広報無線設置事業に続き、大地震対策に備え防災袋を全町9,200世帯に無料配布した。防災袋には、非常持出しセット（非常用飲料水、非常食、食器、応急薬品、保安衛生用品、ロープ等36点）及び避難場所、避難路を示す地図等が添えてある。消防水利については、消火栓の増設に加え、毎年3基の貯水槽（道路地下式を主に有蓋40㎡～90㎡）を増設しており、市街地内には、消火栓207か所及び貯水槽40か所（充足率90%）を有している。
- 昭和 50 年 10 月 7 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。
- 昭和 51 年 3 月 4 日 消防庁長官から、災害の防除と消防力の強化に努め、その成績が特に優秀であるため、消防団に表彰旗が授与された。
- 昭和 51 年 3 月 10 日 第2分団詰所を新築（鉄筋コンクリート造2階建て延べ212㎡）。住宅密集地である同地域の防災上の拠点として、工事費37,500,000円を投じた。
- 昭和 51 年 7 月 11 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。

昭和 51 年 7 月 14 日	南関東地域地震災害警備訓練が浦安町で行われ、自衛隊、県警本部、市川警察署、千葉中央警察署、浦安町及び住民約2,000人が参加した。
昭和 51 年 11 月 15 日	災害用浄水車購入。
昭和 52 年 1 月 31 日	38m級はしご付消防ポンプ自動車購入。中高層建築物の急増に伴い、これらの災害に備えた。
昭和 52 年 2 月 28 日	堀江1370番地の5に第1分団詰所を移転新築（鉄筋コンクリート造3階建て延べ439㎡）。埋立地内の住宅開発地域及び密集市街地を有する同地域の防災上の重要な拠点として工事費55,500,000円を投じた。
昭和 52 年 7 月 5 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。
昭和 52 年 8 月 31 日	常備用普通消防ポンプ自動車購入。消防力の強化を図った。
昭和 52 年 11 月 8 日	同年6月に出場中の消防車が横転するという事故があったため、各分団の第3自動車をダブルシート型で最新のシャーシを採用した小型動力ポンプ付積載車へ更新した。
昭和 53 年 3 月 20 日	救急及び災害活動の適確かつ迅速な指令を行うため、救急指令装置を整備した。
昭和 53 年 3 月 30 日	救急自動車（2B型）購入（更新）。
昭和 53 年 8 月 22 日	普通消防ポンプ自動車購入。第1分団へ配置した。
昭和 53 年 12 月 19 日	内山コンクリート株式会社から、救急自動車（2B型）の寄贈を受けた。
昭和 54 年 2 月 15 日	救急自動車（2B型）購入（更新）。
昭和 54 年 2 月 28 日	消防庁舎を増築（延べ279㎡を増築し、延べ1,248㎡となる。）。消防署今川出張所竣工（鉄筋コンクリート造2階建て一部平家延べ592㎡）。
昭和 54 年 3 月 15 日	常備用普通消防ポンプ自動車購入。消防署へ配置した。
昭和 54 年 3 月 27 日	複雑多様化する災害に対応するため、常備用救助工作車を新たに整備した。消防署へ配置。
昭和 54 年 4 月 1 日	救助隊発足。 消防署今川出張所が、消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、署員14名をもって発足。
昭和 54 年 5 月 28 日	指令車購入。消防署へ配置した。
昭和 54 年 9 月 8 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。
昭和 54 年 10 月 31 日	千葉県防災総合訓練が浦安町で行われ、千葉県、浦安町、千葉県警察本部、同消防協会、浦安町消防本部、同消防団、日本赤十字社千葉県支部、浦安町地区赤十字奉仕団、同自治会連合会、同婦人の会連合会、浦安町・市川市組合立葛南病院、市川市医師会浦安支部、市川電報電話局、東京電力千葉支店、京葉瓦斯、帝都高速度交通営団、銚子地方気象台、千葉海上保安部、陸上自衛隊、海上自衛隊及びオリエンタルランド交通の21団体、約2,500人が参加した。
昭和 54 年 11 月 14 日	水槽付消防ポンプ自動車購入。今川出張所に配置し、この地域における消防強化を図った。
昭和 55 年 3 月 31 日	急増する救急業務の迅速化を図るため、救急無線の復信化を行った。
昭和 55 年 4 月 1 日	第2代石井寛消防長就任。

昭和 55 年 7 月 23 日	第16回千葉県消防操法大会において、第3分団がポンプ自動車の部で3位に入賞した。
昭和 55 年 9 月 8 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。
昭和 56 年 1 月 9 日	常備用化学消防ポンプ自動車購入。今川出張所へ配置した。
昭和 56 年 1 月 24 日	気象観測用機器を整備した。
昭和 56 年 2 月 28 日	消防・救急各種災害活動の適正化を図るため、緊急情報現示システムを導入した。
昭和 56 年 4 月 1 日	市制を施行し、浦安市となる（浦安市消防本部・消防署及び浦安市消防団となる。）。
昭和 56 年 9 月 10 日	財団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車火災保険号の寄贈を受けた。消防署へ配置した。
昭和 57 年 4 月 1 日	第3代熊川好生市長消防長事務取扱就任。
昭和 57 年 9 月 7 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。
昭和 57 年 10 月 6 日	第1回東葛飾支部消防操法大会が松戸市金ヶ作公園にて開催され、第1分団が出場。
昭和 58 年 3 月 22 日	千葉県防災行政無線設備設置。
昭和 58 年 9 月 7 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。
昭和 58 年 9 月 27 日	第2回東葛飾支部消防操法大会が船橋市中山競馬場駐車場にて開催され、第2分団が出場。ポンプ自動車の部で優勝を遂げた。
昭和 58 年 10 月 5 日	第18回千葉県消防操法大会ポンプ自動車の部に第2分団が出場。
昭和 59 年 3 月 30 日	新たにABC粉末20型背負型消火器を126本購入。各自治会に貸与し、防災対策の充実を図った。
昭和 59 年 7 月 11 日	第3回東葛飾支部消防操法大会が中山競馬場駐車場にて開催され、第3分団が出場。ポンプ自動車の部で優勝を遂げた。
昭和 59 年 7 月 24 日	第20回千葉県消防操法大会ポンプ自動車の部に第3分団が出場。
昭和 59 年 9 月 11 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。
昭和 59 年 11 月 1 日	救急自動車（2B型）購入（更新）。
昭和 59 年 12 月 25 日	第4代内田平輔消防長就任。
昭和 60 年 7 月 10 日	第4回東葛飾支部消防操法大会が柏市新十余二第1公園にて開催され、第1分団が出場。ポンプ自動車の部で準優勝を遂げた。
昭和 60 年 9 月 10 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。
昭和 60 年 11 月 15 日	査察広報車購入。
昭和 60 年 12 月 4 日	救急自動車（2B型）2台購入（更新）。
昭和 60 年 12 月 24 日	小型動力ポンプ付積載車3台購入（更新）。第1、第2及び第3分団へ配置した。
昭和 61 年 4 月 1 日	第8代高梨喜好消防団長就任。
昭和 61 年 7 月 9 日	第5回東葛飾支部消防操法大会が松戸市松戸競輪場駐車場にて開催され、第2分団が出場。
昭和 61 年 9 月 4 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。
昭和 62 年 1 月 26 日	水槽付消防ポンプ自動車購入（更新）。
昭和 62 年 6 月 12 日	人員輸送用29人乗りマイクロバス購入。

昭和 62 年 7 月 8 日 第 6 回東葛飾支部消防操法大会が船橋市中山競馬場駐車場にて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ自動車の部で優勝を遂げた。

昭和 62 年 7 月 23 日 第 23 回千葉県消防操法大会において、第 3 分団がポンプ自動車の部で 3 位に入賞した。

昭和 62 年 9 月 29 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 3 分団へ配置した。

昭和 62 年 11 月 16 日 資機材搬送用軽自動車 3 台購入。第 1、第 2 及び第 3 分団へ配置した。

昭和 63 年 2 月 24 日 堀江出張所へ配属予定の救急自動車（2 B 型）購入。

昭和 63 年 3 月 20 日 消防署堀江出張所竣工（鉄筋コンクリート造 2 階建て延べ 443m²）。

昭和 63 年 4 月 1 日 旧市街地の消防力の充実・強化のため、消防署堀江出張所発足（消防ポンプ自動車 1 台、救急車 1 台、署員 18 名）。

昭和 63 年 7 月 6 日 第 7 回東葛飾支部消防操法大会が市川市消防訓練場にて開催され、第 1 分団が出場。

昭和 63 年 12 月 12 日 常備用普通消防ポンプ自動車購入。堀江出張所へ配置した。

昭和 63 年 12 月 20 日 今川出張所を増設（延べ 31m²を増設。延べ 623m²となる。）。

平成 元年 3 月 9 日 株式会社オリエンタルランドから 38m 級はしご付消防自動車の寄贈を受ける。今川出張所へ配置した。

平成 元年 7 月 12 日 第 8 回東葛飾支部消防操法大会が柏市南部運動場にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ自動車の部で準優勝を遂げた。

平成 元年 7 月 19 日 小型動力ポンプ購入。本署へ配置した。

平成 元年 7 月 25 日 第 25 回千葉県消防操法大会において、第 2 分団がポンプ自動車の部で準優勝を遂げた。

平成 元年 7 月 26 日 資機材運搬用トラック購入。消防署へ配置した。

平成 元年 8 月 1 日 指令車購入。消防署へ配置した。

平成 2 年 2 月 2 日 旧市街地の狭あいな道路事情に対応するため、軽四輪小型動力ポンプ付積載車購入。堀江出張所へ配置した。

平成 2 年 3 月 12 日 救急自動車（2 B 型）購入（更新）。

平成 2 年 7 月 3 日 浦安市消防音楽隊発足に向け練習を開始した。

平成 2 年 7 月 11 日 第 9 回東葛飾支部消防操法大会が松戸市消防訓練センターにて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ自動車の部で 3 位に入賞した。

平成 2 年 9 月 10 日 小型動力ポンプ購入。今川出張所へ配置した。

平成 2 年 11 月 14 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 1 分団へ配置した。

平成 2 年 12 月 7 日 災害現場での指揮命令伝達・無線交信の円滑化を図るため、指揮統制車購入。消防署へ配置した。

平成 2 年 12 月 12 日 救急自動車（2 B 型）2 台購入（更新）。

平成 3 年 3 月 15 日 救助工作車購入（更新）。

平成 3 年 7 月 10 日 第 10 回東葛飾支部消防操法大会が船橋市中山競馬場古作駐車場にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ自動車の部で準優勝を遂げた。

平成 3 年 7 月 23 日 第 27 回千葉県消防操法大会において、ポンプ自動車の部に第 1 分団が出場。

平成 3 年 8 月 20 日 小型動力ポンプ購入。堀江出張所へ配置した。

平成 3 年 8 月 23 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 3 分団へ配置した。

平成 3 年 8 月 30 日 査察広報車購入（更新）。

平成 4 年 4 月 1 日	浦安市消防音楽隊を隊長以下25名で発足。
平成 4 年 7 月 8 日	第11回東葛飾支部消防操法大会が市川市消防訓練場にて開催され、第2分団が出場。ポンプ自動車の部で3位に入賞した。
平成 4 年 9 月 30 日	社団法人日本損害保険協会から水槽付消防ポンプ自動車火災保険号の寄贈を受けた。消防署へ配置した。
平成 4 年 11 月 11 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。
平成 5 年 4 月 1 日	消防本部組織改正により、消防課の1課制を総務課・消防課の2課制に改めた。
平成 5 年 7 月 7 日	第12回東葛飾支部消防操法大会が柏市南部運動場にて開催され、第3分団が出場。ポンプ自動車の部で優勝を遂げた。
平成 5 年 7 月 27 日	第29回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第3分団が出場。ポンプ自動車の部で準優勝を遂げた。
平成 5 年 8 月 30 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。
平成 5 年 10 月 13 日	第5代鈴木雅久消防長就任。
平成 6 年 2 月 10 日	救急自動車（2B型）購入（更新）。
平成 6 年 3 月 15 日	化学消防ポンプ自動車購入（更新）。
平成 6 年 3 月 17 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。
平成 6 年 7 月 6 日	第13回東葛飾支部消防操法大会が松戸市消防訓練センターにて開催され、第1分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。
平成 6 年 7 月 26 日	第30回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第1分団が出場。ポンプ車の部で初の優勝を遂げた。
平成 6 年 9 月 9 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。
平成 6 年 11 月 11 日	初の救急救命士が誕生した。
平成 7 年 3 月 10 日	消防ポンプ自動車購入（更新）。
平成 7 年 3 月 17 日	高規格救急自動車購入。
平成 7 年 3 月 22 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。
平成 7 年 4 月 1 日	消防本部組織改正により、総務課・消防課の2課制を総務課・予防課・警防課の3課制に改めた。
平成 7 年 6 月 26 日	消防庁舎増築のうち、増築棟（軽量鉄骨造2階建て延べ977㎡）のみ使用開始した。
平成 7 年 7 月 12 日	第14回東葛飾支部消防操法大会が船橋市中山競馬場古作駐車場にて開催され、第2分団が出場。ポンプ車の部で優勝を遂げた。
平成 7 年 7 月 25 日	第31回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第2分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。
平成 7 年 8 月 23 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。
平成 7 年 8 月 31 日	消防庁舎増築棟の全てが竣工（延べ2,225㎡となる。）。
平成 7 年 9 月 1 日	第16回七都県市合同防災訓練中央会場訓練が千葉県と浦安市の共催で行われ、256機関、約18,000人が参加した。
平成 7 年 9 月 13 日	消防専用駐車場等の整備が竣工。
平成 7 年 11 月 29 日	2人目の救急救命士が誕生した。
平成 8 年 2 月 19 日	救急自動車（2B型）購入（更新）。
平成 8 年 2 月 29 日	38m級はしご付消防自動車購入（更新）。

平成 8 年 3 月 12 日 普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 1 分団へ配置した。

平成 8 年 5 月 7 日 3 人目の救急救命士が誕生した。

平成 8 年 7 月 12 日 第15回東葛飾支部消防操法大会が市川市消防訓練場にて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。

平成 8 年 7 月 23 日 第32回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ車の部で 3 位に入賞した。

平成 8 年 7 月 30 日 震災対策として、小型動力ポンプ購入。消防署、今川出張所及び堀江出張所へ配置した。

平成 8 年 10 月 1 日 消防組織法改正により、浦安市消防本部消防職員委員会を設置した。

平成 8 年 11 月 7 日 産経新聞社主催の第27回千葉県民の消防員で、浦安市消防本部及び浦安市消防団が団体表彰を受賞した。

平成 9 年 7 月 9 日 第16回東葛飾支部消防操法大会が柏市正連寺運動広場にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ車の部で優勝を遂げた。

平成 9 年 7 月 29 日 第33回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 1 分団が出場した。

平成 9 年 8 月 5 日 防火指導車購入。

平成 9 年 11 月 5 日 人員輸送車購入（更新）。

平成 9 年 12 月 25 日 査察広報車購入（更新）。

平成 10 年 3 月 31 日 消防庁舎耐震改修工事が竣工。

平成 10 年 5 月 18 日 4 人目の救急救命士が誕生した。

平成 10 年 7 月 8 日 第17回東葛飾支部消防操法大会が松戸市消防訓練センターにて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。

平成 10 年 7 月 14 日 資機材搬送車購入（更新）。

平成 10 年 7 月 22 日 第34回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。

平成 11 年 5 月 12 日 5 人目の救急救命士が誕生した。

平成 11 年 7 月 7 日 第18回東葛飾支部消防操法大会が野田市利根川河川敷スポーツ公園にて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ車の部で 3 位に入賞した。

平成 12 年 3 月 24 日 高規格救急自動車購入。

平成 12 年 4 月 1 日 危険物事業所等に加え、大規模防火対象物の防火管理体制の充実・強化を図るため、浦安市危険物安全協会を浦安市防火安全協会に改組した（会員数79名）。

平成 12 年 5 月 12 日 6 人目の救急救命士が誕生した。

平成 12 年 7 月 5 日 第19回東葛飾支部消防操法大会が船橋市中山競馬場古作駐車場にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ車の部で優勝を遂げた。

平成 12 年 8 月 1 日 第36回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 1 分団が出場した。

平成 13 年 2 月 10 日 消防署訓練塔改築完成（鉄骨造 3 階建て延べ309㎡）。

平成 13 年 3 月 16 日 消防ポンプ自動車購入（更新）。

平成 13 年 4 月 1 日 第 6 代市山克己消防長就任。

平成 13 年 5 月 10 日 7 人目の救急救命士が誕生した。

平成 13 年 7 月 1 日	第20回東葛飾支部消防操法大会が市制20周年の節目に、初の浦安会場としてTDL臨時駐車場にて開催され、第2分団が出場。ポンプ車の部で優勝を遂げた。
平成 13 年 8 月 1 日	第37回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第2分団が出場。ポンプ車の部で3位に入賞した。
平成 13 年 10 月 2 日	査察広報車購入（更新）。
平成 13 年 11 月 22 日	8人目の救急救命士が誕生した。
平成 14 年 3 月 14 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。
平成 14 年 3 月 27 日	平成13年度から消防庁において創設された表彰制度で、本市消防団の夜間路上禁煙運動への協力など、地域に密着した活動が認められ、消防庁長官から消防団地域活動表彰を受賞した。
平成 14 年 4 月 1 日	初の女性消防職員1名を採用する。
平成 14 年 5 月 1 日	9人目の救急救命士が誕生した。
平成 14 年 5 月 13 日	10人目の救急救命士が誕生した。
平成 14 年 6 月 5 日	11人目の救急救命士が誕生した。
平成 14 年 7 月 7 日	第21回東葛飾支部消防操法大会が柏市大堀川防災レクリエーション公園にて開催され、第3分団が出場。ポンプ車の部で優勝を遂げた。
平成 14 年 7 月 31 日	第38回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第3分団が出場した。
平成 15 年 1 月 30 日	水槽付消防ポンプ自動車購入（更新）。
平成 15 年 2 月 19 日	15m級屈折はしご付消防自動車購入。
平成 15 年 3 月 10 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。
平成 15 年 3 月 18 日	高規格救急自動車購入。
平成 15 年 3 月 20 日	消防ポンプ自動車購入（更新）。
平成 15 年 4 月 1 日	第7代宇田川秀明消防長就任。
平成 15 年 5 月 1 日	第4救急隊運用開始（本署）。
平成 15 年 5 月 6 日	12人目の救急救命士が誕生した。
平成 15 年 7 月 6 日	第22回東葛飾支部消防操法大会が松戸市訓練センターにて開催され、第1分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。
平成 15 年 7 月 23 日	指揮車購入。
平成 15 年 7 月 30 日	第39回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第1分団が出場した。
平成 15 年 8 月 20 日	資機材搬送車購入（更新）。
平成 15 年 11 月 1 日	消防団本部付団員として、女性21名に辞令を交付。初の女性消防団員が誕生した。
平成 16 年 1 月 1 日	消防旗の制定。
平成 16 年 1 月 19 日	高規格救急自動車購入。
平成 16 年 3 月 18 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。
平成 16 年 7 月 4 日	第23回東葛飾支部消防操法大会が野田市利根川河川敷スポーツ公園にて開催され、第2分団が出場した。
平成 16 年 9 月 1 日	第25回八都県市合同防災訓練千葉県会場訓練が浦安市で開催された。
平成 16 年 10 月 1 日	13人目の救急救命士が誕生した。

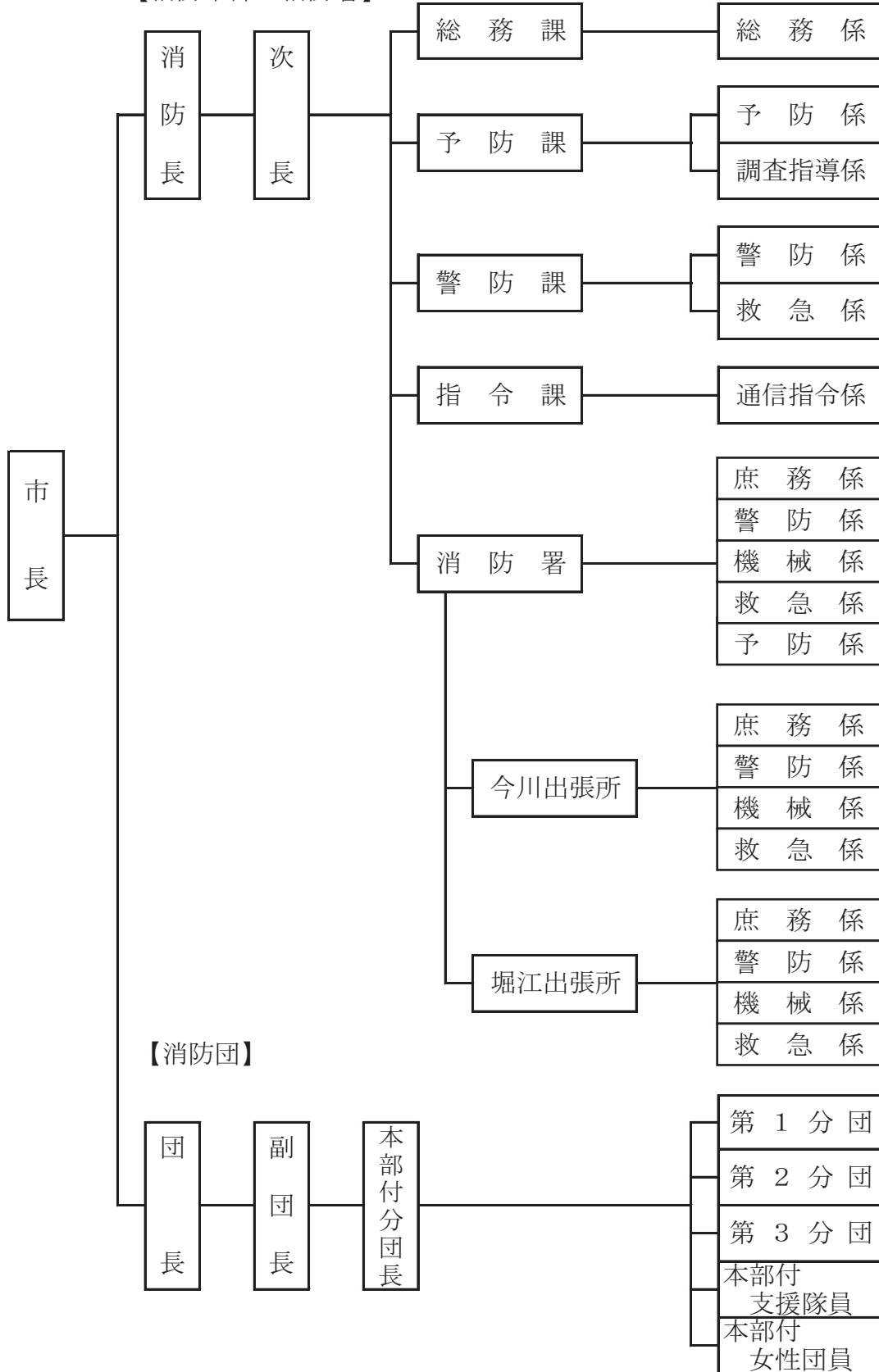
平成 17 年 3 月 11 日	高規格救急自動車購入（更新）。
平成 17 年 3 月 14 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 1 及び第 2 分団へ配置した。
平成 17 年 3 月 25 日	指揮統制車購入（更新）。
平成 17 年 4 月 1 日	第 8 代岩田高一消防長就任。
平成 17 年 5 月 30 日	市役所消防協力隊解散。
平成 17 年 6 月 27 日	資機材搬送車購入（更新）。第 1、第 2 及び第 3 分団へ配置した。
平成 17 年 7 月 10 日	第 24 回東葛飾支部消防操法大会が船橋市日本大学理工学部二和校グラウンドにて開催され、第 3 分団が出場。ポンプ車の部で優秀賞を受賞した。
平成 17 年 7 月 29 日	第 41 回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 3 分団が出場した。
平成 17 年 11 月 16 日	14 人目の救急救命士が誕生した。
平成 18 年 3 月 9 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第 3 分団へ配置した。
平成 18 年 3 月 13 日	救助工作車購入（更新）。
平成 18 年 4 月 1 日	第 9 代醍醐辰雄消防団長就任。
平成 18 年 5 月 15 日	15 人目の救急救命士が誕生した。
平成 18 年 6 月 28 日	自動体外式除細動器（AED）を消防本部として、市内 17 か所の公共施設に設置を開始した。
平成 18 年 7 月 2 日	第 25 回東葛飾支部消防操法大会が我孫子市五本松運動公園にて開催され、第 1 分団が出場。ポンプ車の部で優秀賞を受賞した。
平成 18 年 7 月 29 日	第 42 回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 1 分団が出場した。
平成 18 年 8 月 18 日	16 人目の救急救命士が誕生した。
平成 19 年 3 月 23 日	消防ポンプ自動車購入（更新）。
平成 19 年 3 月 31 日	水槽付消防ポンプ自動車 2 台購入（更新）。
平成 19 年 4 月 1 日	消防本部組織改正により、総務課・予防課・警防課の 3 課制を総務課・予防課・警防課・指令課の 4 課制に改めた。
平成 19 年 5 月 1 日	17 人目の救急救命士が誕生した。
平成 19 年 5 月 11 日	18 人目の救急救命士が誕生した。
平成 19 年 7 月 1 日	第 26 回東葛飾支部消防操法大会が浦安市オリエンタルランド職員駐車場にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。
平成 19 年 7 月 28 日	第 43 回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第 2 分団が出場。ポンプ車の部で準優勝を遂げた。
平成 19 年 9 月 28 日	人員輸送車購入（更新）。
平成 20 年 2 月 19 日	消防本部・署新庁舎棟竣工（鉄筋コンクリート造 4 階建て免震構造延べ 5,264.67m ² ）。
平成 20 年 2 月 25 日	消防本部・署新庁舎棟運用開始。高機能消防指令システム運用開始。
平成 20 年 3 月 14 日	高規格救急自動車購入（更新）。
平成 20 年 4 月 1 日	消防救急無線設備デジタル化の共同整備・管理の共同処理機関を千葉県市町村総合事務組合とした。
平成 20 年 5 月 7 日	19 人目の救急救命士が誕生した。

平成 20 年 6 月 25 日	20人目の救急救命士が誕生した。
平成 20 年 6 月 29 日	第27回東葛飾支部消防操法大会が市川市消防局訓練場にて開催され、第3分団が出場。ポンプ車の部で優秀賞を受賞した。
平成 20 年 7 月 26 日	第44回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第3分団が出場した。
平成 20 年 9 月 30 日	消防本部・署新庁舎訓練塔竣工。
平成 20 年 11 月 5 日	株式会社内山アドバンス及び山一興産株式会社から、高規格救急自動車の寄贈を受けた。消防署へ配置した。
平成 21 年 2 月 26 日	38m級はしご付消防自動車購入（更新）。
平成 21 年 3 月 18 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第2分団へ配置した。
平成 21 年 5 月 1 日	21人目の救急救命士が誕生した。
平成 21 年 5 月 7 日	22人目の救急救命士が誕生した。
平成 21 年 12 月 8 日	資機材搬送車購入（更新）。
平成 22 年 1 月 22 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第3分団へ配置した。
平成 22 年 3 月 17 日	消防ポンプ自動車購入（更新）。
平成 22 年 4 月 1 日	第9代山中勇消防長就任。 第10代平林清重消防団長就任。
平成 22 年 5 月 18 日	23人目の救急救命士が誕生した。
平成 22 年 6 月 27 日	第29回東葛飾支部消防操法大会が鎌ヶ谷市陸上競技場にて開催され、第2分団が出場。ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。
平成 22 年 7 月 13 日	浦安市消防団協力事業所制度実施要綱を制定した。
平成 22 年 7 月 24 日	第46回千葉県消防操法大会が県消防学校にて開催され、第2分団が出場。ポンプ車の部で最優秀賞を受賞した。
平成 23 年 1 月 21 日	普通消防ポンプ自動車購入（更新）。第1分団へ配置した。
平成 23 年 3 月 11 日	東北地方太平洋沖地震（マグニチュード9.0）により、中町・新町地区をはじめ、市内86%の地域が液状化現象で甚大な被害を受けた。
平成 23 年 3 月 23 日	高規格救急自動車購入（更新）。
平成 23 年 4 月 1 日	松戸市ほか5市消防指令事務協議会が設置され、規約を制定した。 消防団本部付団員として、消防団経験者で構成された浦安市消防団支援隊が隊員58名で発足した。
平成 23 年 5 月 11 日	24人目の救急救命士が誕生した。
平成 23 年 5 月 13 日	25人目の救急救命士が誕生した。
平成 23 年 6 月 1 日	第5救急隊運用開始（今川出張所にて消防ポンプ自動車との乗換え運用）。
平成 23 年 11 月 29 日	レスキューボート購入（更新）。
平成 24 年 4 月 1 日	第10代川口利治消防長就任。 浦安市少年消防団発足。小学5年生46名に団員証を交付した。

2 消防機構

〔1〕消防組織

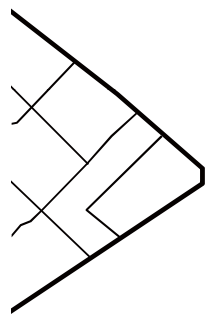
【消防本部・消防署】



〔2〕 消防施設配置図及び状況



No.	施設名・所属	所在地	建築年月日	建築構造	延床面積	敷地面積
①	浦安市消防庁舎 消防本部・消防署 消防団本部	浦安市猫実一丁目 19番22号	H20. 9. 30	鉄筋コンクリート造4階 建一部鉄骨造 免震構造	5,796.63㎡	4,789.45㎡
②	消防署 今川出張所	浦安市今川四丁目 11番1号	S54. 2. 28 増築 S63. 12. 20	鉄筋コンクリート造2階 建一部平屋建	623.00㎡	1,880.00㎡
③	消防署 堀江出張所	浦安市堀江四丁目 18番6号	S63. 3. 20	鉄筋コンクリート造2階 建	442.97㎡	458.79㎡



No.	分団	所在地	建築年月日	建築構造	延床面積	敷地面積
①	第一分団	浦安市堀江二丁目 1番1号	S52. 2. 28	鉄筋コンクリート造3階 建	439.04㎡	479.57㎡
②		浦安市堀江四丁目 16番1号	H11. 3. 29	軽量鉄骨造平屋建	33.20㎡	69.98㎡
③		浦安市富士見三丁目 1番39号	H4. 3. 24	軽量鉄骨造平屋建	29.16㎡	101.89㎡
④	第二分団	浦安市猫実四丁目 18番15号	S51. 3. 10	鉄筋コンクリート造2階 建	212.25㎡	185.13㎡
⑤		浦安市猫実三丁目 13番15号	H10. 3. 31	軽量鉄骨造平屋建	34.08㎡	57.18㎡
⑥		浦安市猫実一丁目 6番7号	H14. 11. 8	軽量鉄骨造スレート葺平屋建	29.16㎡	124.04㎡
⑦	第三分団	浦安市当代島二丁目 3番19号	S50. 3. 10	鉄筋コンクリート造3階 建	412.30㎡	367.89㎡
⑧		浦安市北栄三丁目 20番4号	H4. 3. 24	軽量鉄骨造平屋建	29.16㎡	66.15㎡
⑨		浦安市当代島三丁目 14番9号	S47. 12. 15	木造瓦葺2階建	48.75㎡	41.35㎡

[3] 消防本部事務分掌

課名	係名	事 務 分 掌
総務課	総務係	1 公印の保管に関する事。
		2 文書の收受及び発送に関する事。
		3 消防組織に関する事。
		4 消防力の整備計画の策定に関する事。
		5 財産の維持管理に関する事。
		6 消防庁舎及び附属施設の維持管理に関する事。
		7 予算の編成及び執行管理に関する事。
		8 消防職員の任免、配置、分限、懲戒及び服務に関する事。
		9 消防表彰に関する事。
		10 消防職員の安全衛生に関する事。
		11 消防職員の福利厚生に関する事。
		12 消防職員の研修に関する事。
		13 消防職員の公務災害補償に関する事。
		14 消防団に関する事。
		15 消防職員委員会に関する事。
		16 消火器の貸出しに関する事。
		17 少年消防団に関する事。
		18 課の庶務に関する事。
		19 その他他の課の所管に属さない事。
予防課	予防係	1 防火思想の普及宣伝に関する事。
		2 防火管理及び防災管理に関する事。
		3 自衛消防隊に関する事。
		4 予防査察に関する事。
		5 消防音楽隊に関する事。
		6 課の庶務に関する事。
		7 その他予防消防に関する事。
防課	調査指導係	1 危険物の規制に関する事。
		2 建築物の同意に関する事。
		3 消防用設備等の設置及び指導に関する事。
		4 浦安市火災予防条例（昭和56年条例第98号）に基づく届出（同条例第45条及び第45条の2に係るものを除く。）に関する事。
		5 火災の原因及び損害の調査に関する事。
		6 火災統計に関する事。
		7 火災に係るり災証明に関する事。
		8 浦安市防火安全協会に関する事。
		9 予防課の所管に係る宅地開発事業等の個別協議に関する事。

課名	係名	事 務 分 掌
警防課	警防係	1 水火災の防御計画に関すること。 2 水火災の警報に関すること。 3 消防水利の整備に関すること。 4 消防用機器の整備計画に関すること。 5 消防用機器の維持管理に関すること。 6 災害統計に関すること。 7 安全運転管理に関すること。 8 警防課の所管に係る宅地開発事業等の個別協議に関すること。 9 課の庶務に関すること。 10 その他警防に関すること。
	救急係	1 救急業務の計画に関すること。 2 救急用機器の整備計画に関すること。 3 救急用機器の維持管理に関すること。 4 救急救命士に関すること。 5 応急手当の普及宣伝に関すること。 6 救急統計に関すること。 7 その他救急に関すること。
指令課	通信指令係	1 消防通信の計画に関すること。 2 災害等の出動指令に関すること。 3 関係機関との連絡調整に関すること。 4 気象観測情報及び気象統計に関すること。 5 通信指令施設の維持管理に関すること。 6 指令センターの共同化に関すること。 7 課の庶務に関すること。 8 その他消防通信に関すること。

[4] 消防署事務分掌

課名	係名	事 務 分 掌
消 防 署	庶務係	1 消防庁舎の維持管理に関する事。 2 署員の勤務配置に関する事。 3 署員の服務に関する事。 4 署員の福利厚生に関する事。 5 その他他の係に属さない事。
	警防係	1 災害出動に関する事。 2 消防水利の調査及び保全に関する事。 3 消防用機器の維持管理に関する事。 4 浦安市火災予防条例（昭和56年条例第98号）に基づく届出（同条例第45条及び第45条の2に係るものに限る。）に関する事。
	機械係	1 消防車両及び消防機械器具の保守管理に関する事。 2 安全運転管理に関する事。 3 高圧ガス製造施設の保守管理に関する事。
	救急係	1 救命処置に関する事。 2 救急用機器の維持管理に関する事。 3 応急手当の指導に関する事。
	予防係	1 消防訓練に関する事。 2 予防査察に関する事。 3 火災の原因及び損害の調査に関する事。 4 火災に係るり災証明に関する事。

3 予 算

〔1〕 年度別市一般会計予算と消防予算

年度別		区分	市一般会計予算 (千円)	消防費予算 (千円)	比率 (%)
平成20年度	当 初		58,350,000	2,400,050 (繰越額 10,024)	4.1
	決 算		56,658,205	2,353,173	4.2
平成21年度	当 初		61,100,000	1,907,210	3.1
	決 算		59,861,181	1,883,376	3.1
平成22年度	当 初		61,000,000	1,920,010	3.1
	決 算		61,638,550	1,870,197	3.0
平成23年度	当 初		62,380,000	1,969,880	3.2
	決 算				
平成24年度	当 初		62,160,000	1,909,740	3.1
	決 算				

〔2〕 年度別消防予算に対する負担比率

(各年度4月1日現在)

年度別	区分	消防予算 (円)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	負 担	
					市民1人当たり (円)	1世帯当たり (円)
平成20年度		2,400,050,000	160,031	70,573	14,998	34,009
平成21年度		1,907,210,000	162,944	72,368	11,705	26,355
平成22年度		1,920,010,000	164,040	72,714	11,705	26,405
平成23年度		1,969,880,000	165,128	73,341	11,930	26,860
平成24年度		1,909,740,000	162,679	72,196	11,740	26,453

[3] 平成23年度の実施計画事業及び主要事業

事業名	事業内容
高機能消防指令システム整備事業	高機能消防指令システムの賃借及び維持管理
千葉県消防救急無線共同整備・運用事業	共同部分整備（共同処理機関実施） （共同処理機関：千葉縣市町村総合事務組合） デジタル無線移動局購入
千葉県消防指令業務共同運用事業	千葉北西部消防指令センターの整備・運用に関する協議 （継続）
レスキューボート購入事業	レスキューボート購入（更新） 1艇
はしご付消防自動車分解整備事業	はしご付消防自動車の分解整備 1台 （債務負担行為）
消火器無償貸出し事業	市内の各世帯に消火器を無償で貸し出す事業
救急救命士の養成	救急救命士の計画的な養成 （救急救命東京研修所への入校）
自動体外式除細動器（AED）普及事業	公共施設及び事業所等へのAED設置の促進

4 消 防 職 員

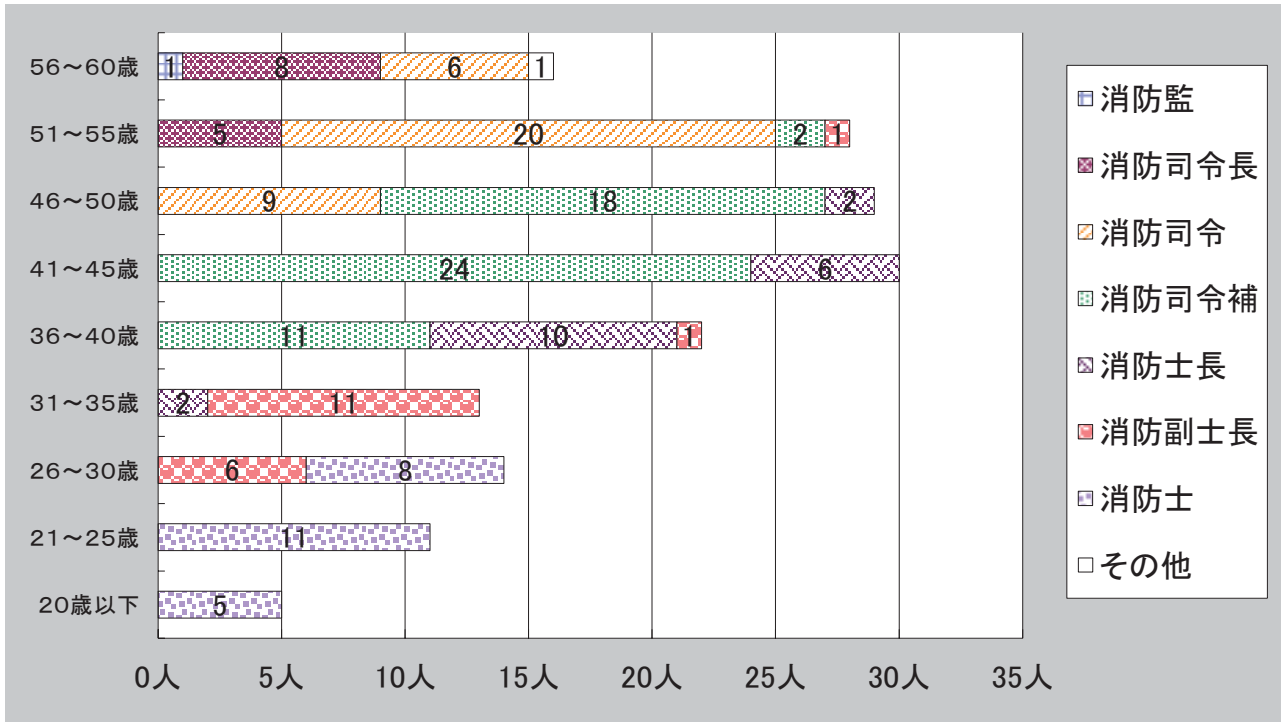
〔1〕 職員の配置

(平成24年4月1日現在)

階 級 区 分		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	合 計
		消 防 本 部	消 防 長	1						
次 長			2							2
副 参 事			1							1
総 務 課			1	1	3	1	1	2	1	10
予 防 課			1	2	2	2	2	1		10
警 防 課			2	1	2	1				6
指 令 課			1	5	4	1	2			13
小 計	1		8	9	11	5	5	3	1	43
消 防 署	署 長		(1)							0
	本 署		3	11	20	8	10	19		71
	今川出張所		1	8	12	5	3	2		31
	堀江出張所		1	7	12	2	1			23
	小 計	0	5	26	44	15	14	21	0	125
合 計		1	13	35	55	20	19	24	1	168

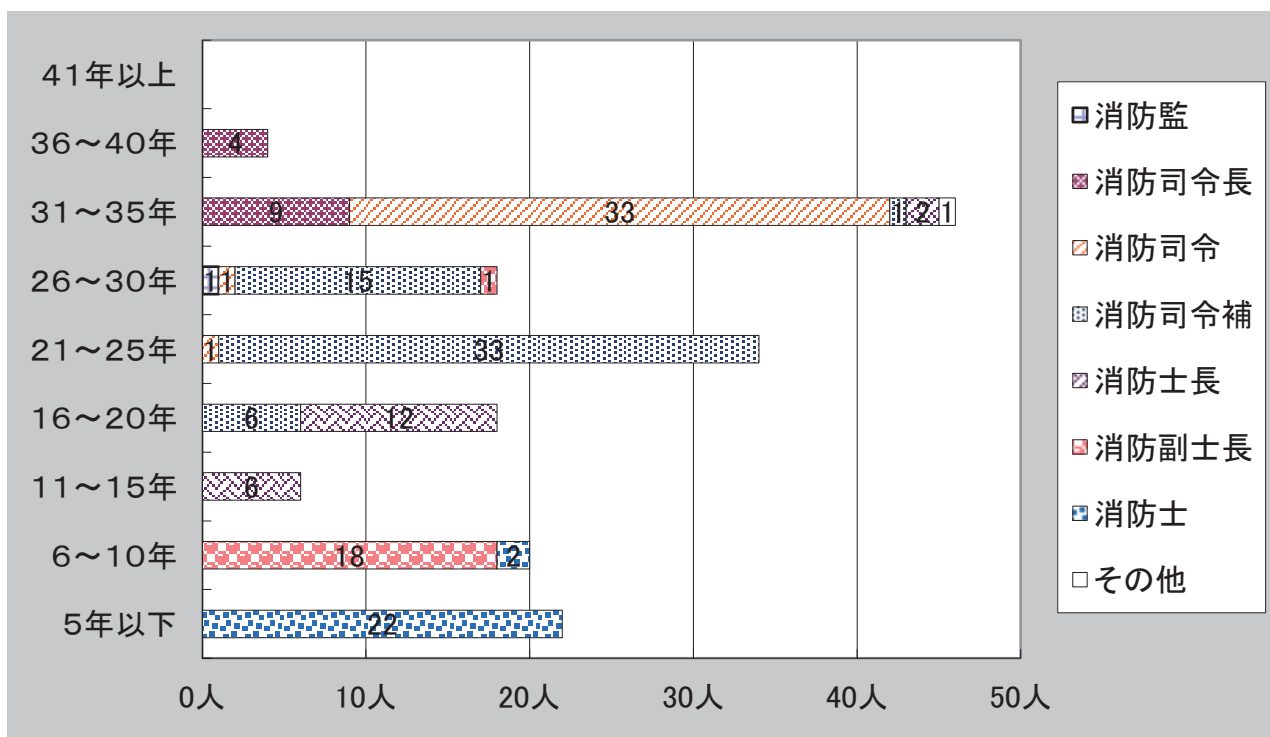
注：（ ）は事務取扱い

[2] 職員の階級別年齢



階 級	階 級 章	総 数 (人)	平均年齢 (歳)
消 防 監		1	58.0
消 防 司 令 長		13	56.3
消 防 司 令		35	52.4
消 防 司 令 補		55	44.2
消 防 士 長		20	40.2
消 防 副 士 長		19	32.4
消 防 士		24	24.2
そ の 他		1	56.0
合 計		168	42.9

[3] 職員の階級別勤続年数



階 級	階 級 章	総 数 (人)	平均年数 (年)
消 防 監		1	30.0
消 防 司 令 長		13	34.4
消 防 司 令		35	32.3
消 防 司 令 補		55	24.6
消 防 士 長		20	18.0
消 防 副 士 長		19	9.9
消 防 士		24	2.7
そ の 他		1	33.0
合 計		168	22.0

〔4〕 職員の定数と実数

(各年度4月1日現在)

階級別 年度別	定 数	実 数	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他
平成15年度	170	162	2	5	19	35	46	17	36	2
平成16年度	170	164	1	6	25	43	41	18	28	2
平成17年度	170	166	1	5	25	47	41	18	26	3
平成18年度	170	164	1	6	24	51	39	14	28	1
平成19年度	170	161	1	7	28	50	39	8	28	0
平成20年度	170	165	1	8	27	53	41	3	32	0
平成21年度	170	167	1	7	26	57	36	3	36	1
平成22年度	170	168	1	12	26	56	32	5	35	1
平成23年度	170	169	1	14	28	51	32	16	26	1
平成24年度	170	168	1	13	35	55	20	19	24	1

注：平成23年度は6月1日現在

[5] 派遣研修

区分		年度別		平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 23年度	合計
		平成 18年度 まで							
消防 大学 校	本科	1							1
	幹部科	4	1	1				1	7
	上級幹部科	2							2
	新任消防長・学校長科						1		1
	警防科	7					1		8
	予防科	6							6
	危険物科				1				1
	救急科	5		1	1			1	8
	救助科	8	1				1		10
	火災調査講習会	3							3
	違反是正講習会	1							1
	NBC災害講習会	1							1
千 葉 県 消 防 学 校	初任科	198		8	4	2	3		215
	警防科警防課程	26							26
	警防科無線通信課程	8							8
	救助科	62	1	2	2	2	2		71
	救助科水難救助課程	10							10
	火災調査科	16			1			2	17
	危険物科	17		1					18
	予防査察科	29	1				1	2	33
	救急科Ⅰ課程	61							61
	救急科Ⅱ課程	35							35
	救急科	55	3	4	4	4	4	4	74
	訓練指導科	47	2	2	2	2			55
	機関科	6							6
	初級幹部科	44		1					45
	中級幹部科	15			1	1	1		18
	上級幹部科	1							1
	幹部特別研修科	8							8
	特殊災害科	3		2	2	2	3		12
	新任消防長研修						1		1
	はしご自動車等講習会	29	1					2	30
気管挿管講習	4							4	
薬剤投与講習	1	1						2	
気管挿管・薬剤投与講習	1	1	1	2	2			7	
救急救命士養成	(東京)	12	1	1	1	1	1		17
	(九州)	2							2
薬剤投与追加講習(九州)		1		1	1				3

5 消防庁舎見学・体験コーナー利用状況

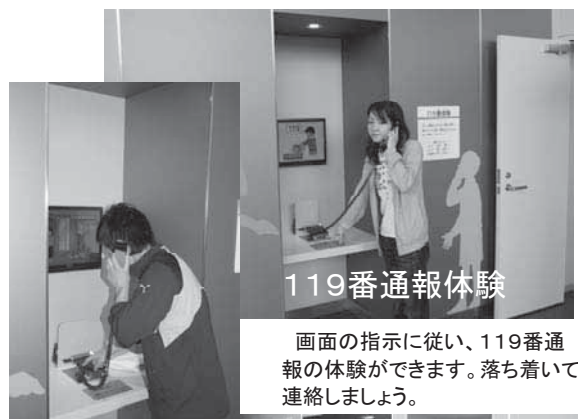
(平成23年度)

	消防庁舎施設見学		消防防災体験コーナー
幼稚園・保育園	12件	715人	616人 ※
小学校	0件	0人	0人 ※
その他団体	18件	455人	426人 ※
個人来庁			456人
合計	30件	1,170人	1,498人

※ 消防庁舎施設見学者の内、消防防災体験コーナー利用された方の人数です。

消防防災体験コーナー

災害はいつ発生するか分かりません。いざという時に冷静な行動がとれるようにしましょう。このコーナーでは、地震・煙・消火・通報の4種類の体験ができます。また、マンションの防火施設の展示もあります。



展示コーナー

防災袋の中身、マンションの蹴破り戸等が展示されています。



6 消防力の整備指針と現有消防力の比較

(平成24年4月1日現在)

種別	署所	消防ポンプ自動車 (化学車含む)	はしご自動車	救助工作車	救急自動車	消防職員
基準	5	8	2	1	6	270
現有	3	5(1) <small>注1</small>	2(1) <small>注2</small>	1	5(1) <small>注1</small>	168
充足率 (%)	60	62.5	100	100	83.3	62.2

注1：()は乗換え運用車両で内数

注2：()は乗換え運用車両で外数

注3：非常用消防ポンプ自動車及び非常用救急自動車を除く